

# 信長・秀吉時代に渡来した西洋の物語と音楽による大人のファンタジー！

## イソップ寓話って そんなに古くからあるの！？

作者と言われているイソップは古代ギリシャ人、しかも奴隷だった。生き方を示唆する処世訓として、あのアリストテレスもお気に入りだったイソップ寓話。実は16世紀後期にはすでに日本に伝わっていたのだ。なんとポルトガル船でやって来た宣教師たちが、キリスト教と西洋音楽とともに九州に持ち込んでいたのである！

彼らはルネサンスの三大発明の一つである活版印刷機を天草のコレジオ(大神学校)に設置し、1593年に日本で初めてイソップ寓話「ESOPONO FABVLAS」を刊行する。これは日本語に訳されたイソップ寓話をローマ字で表記したもので、当時の日本の話し言葉を知る上で貴重な資料でもある。宣教師たちは布教の折々に、日本人にこれを読んで聞かせていたに違いない。大人も子どもも皆が知っているイソップのあの話、この話、そしてルネサンス音楽は、九州の地で安土桃山時代から親しまれていたのだ。

さて、肥後・天草にほど近い八代は、当時のローマでもキリスト教が栄えた町としてキリシタン“竹田イネス”をはじめとする殉教者たちの悲劇も、詳細にヴァチカンに報告されている。また、八代は「河童伝説」が盛んなところでもあるが、皿のように頭を削ったザビエルはげや羽織っていたマント(ポルトガル語でカップ!)など、宣教師の風体はどこか河童に似てないだろうか？ 河童の正体は定かではないが、もしかしたら宣教師が河童に間違われたこともあったかもしれない。

刷り上がったばかりの「イソップ寓話」を自慢げに携えたポルトガル人宣教師と、後に非業の殉教を遂げる竹田イネス。このコンサートでは、二人がこんな風にイソップ寓話を楽しんだであろう、そんな様子を、スペイン&ポルトガル・ルネサンスの音楽に乗せてお届けします。

## 古楽アンサンブル<アントネッロ>

1994年に濱田芳通によって結成された、中世から17世紀のヨーロッパ音楽をレパートリーとするアンサンブル。これまでリリースしたCDはフランス「ディアパゾン」誌で5つ星を獲得するほか、フランス「レペルトワール」誌推薦盤、イタリア「MUSICA」誌最優秀推薦盤に選ばれるなど国内外で高い評価を集めている。単なる演奏にとどまらず「天正遣欧少年使節の音楽」など、日本人と西洋音楽の出会いの起源に迫る、意欲的なコンサート企画でも注目を集めている。2013年からはバロック・オペラ・プロジェクト「オペラ・フレスカ」を始動し、モンテヴェルディの三大オペラ上演を果たすなどますます活動の幅を広げている。

2005年度(第7回) ホテルオークラ音楽賞受賞

2015年度(第28回) ミュージック・ペンクラブ・ジャパン音楽賞(室内楽・合唱部門) 受賞

2015年度(第14回) 佐川吉男音楽賞受賞



### 中嶋 克彦(テノール)

福岡教育大学音楽科卒業。東京藝術大学大学院修士および博士課程オペラ科修了。博士号取得。2012年より文化庁在外派遣研修員としてマインツ音楽大学に留学し、バロック声楽コースにて研鑽。新国立劇場においてR.シュトラウス『サロメ』、ビゼー『カルメン』、プーランク『カルメル会修道女の対話』などに出演。声楽アンサンブル「ラ・フォンテヴェルデ」にも参加。



### 阿部 雅子(ソプラノ)

国立音楽大学、同大学大学院修士・博士課程修了。博士号(音楽)取得。モンテヴェルディ《ポッペアの戴冠》ポッペア、モーツァルト《イドメネオ》イリア、プッチーニ《つばめ》リゼット、ロータ《かしいりす》(日本初演)タイトルロールほか、外山雄三指揮ヘンデル《メサイア》、同指揮ベートーヴェン《第九》、ペルゴレージ《スターバト・マーテル》などのソリストを務める。



### 濱田 芳通(リコーダー&コルネット)

音楽一家の四代目として東京に生まれる。桐朋学園大学古楽器科卒業後、スイス政府給費留学生としてバーゼル・スコラ・カントールムに留学。リコーダーおよびコルネット奏者として欧州で活躍ののち、帰国し古楽アンサンブル「アントネッロ」を主宰。指揮者としても2013年にバロック・オペラ・プロジェクト<オペラ・フレスカ>を主宰。日本における中世・ルネサンス・バロック音楽のエキスパートとして活躍している。



### 石川 かおり(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

山梨大学教育学部在学中、故大橋敏成氏の指導のもとにヴィオラ・ダ・ガンバを始める。同大学卒業後、バーゼル・スコラ・カントールムに留学。ヴィオラ・ダ・ガンバをジョルディ・サヴァール、パオロ・パンドルフオ、平尾雅子の各氏に師事。エンリコ・ガッティ、ウィリアム・ドンゴワの各氏等と共演するほか、通奏低音奏者及びソリストとして活躍中。武蔵野音楽大学非常勤講師。



### 西山 まりえ(チェンバロ&ハープ)

東京音楽大学ピアノ科卒業。同大学研究科チェンバロ科修了。イタリアのミラノ市立音楽院、及びスイスのバーゼル・スコラ・カントールムに留学。ヒストリカル・ハープをM.ガラッシ、チェンバロをR.アレッサンドリーニに師事。多数のCDをリリース、うち3作が「レコード芸術」誌特選盤に、1作が準特選盤/朝日新聞推薦盤となるなど高く評価されている。第11回山梨古楽コンクール・チェンバロ部門第1位および栃木[蔵の街]音楽祭受賞。

## お客様の声より

これは年末を待たずして今年のベスト演奏会決定かもしれない…。パフォーマンスが素晴らしいのはもちろんだが、それを引き立てる脚本、選曲と曲の配置、物語における史実と創作(想像)のバランス。すべてが神がかった。いいものを見せていただいた。度肝を抜かれた。この“ほら貝”も使用します！→

(2016年11月3日/東京文化会館小ホールでの初演時の感想)



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00~16:00  
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業  
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

## 宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は  
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

## 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

交通アクセス  
地下鉄栄駅(12) 番出口より東へ徒歩4分

